

LEXUS LX PARTS (TRD)

MS343-60001/2 リヤスポイラー

取付・取扱要領書

この度はLEXUS LX PARTS リヤスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp>

塗装品

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS343-60001-A0	085 ソニックコート	レクサスLX	URJ201W	'17.08~	
MS343-60001-C0	202 ブラック				
MS343-60001-C1	217 スターライトブラックGF				

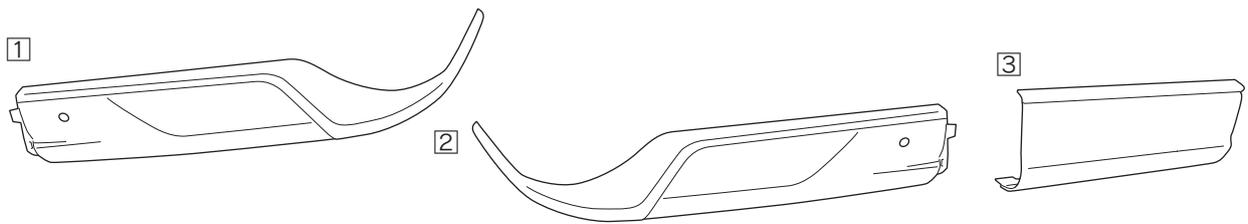
NP品（未塗装品）

品番	適合車種	型式	年式	備考
MS343-60002-NP	レクサスLX	URJ201W	'17.08~	※塗装後の取り付け部品を含む

※塗装後の取り付け部品

	No.	部品名	品番	数量
① 	①	プロテクタRH (1270mm)	76877-UJ220	1
② 	②	プロテクタLH (1270mm)	76877-UJ230	1
③ 	③	プロテクタCTR (425mm)	76877-UJ210	1

■ 構成部品図



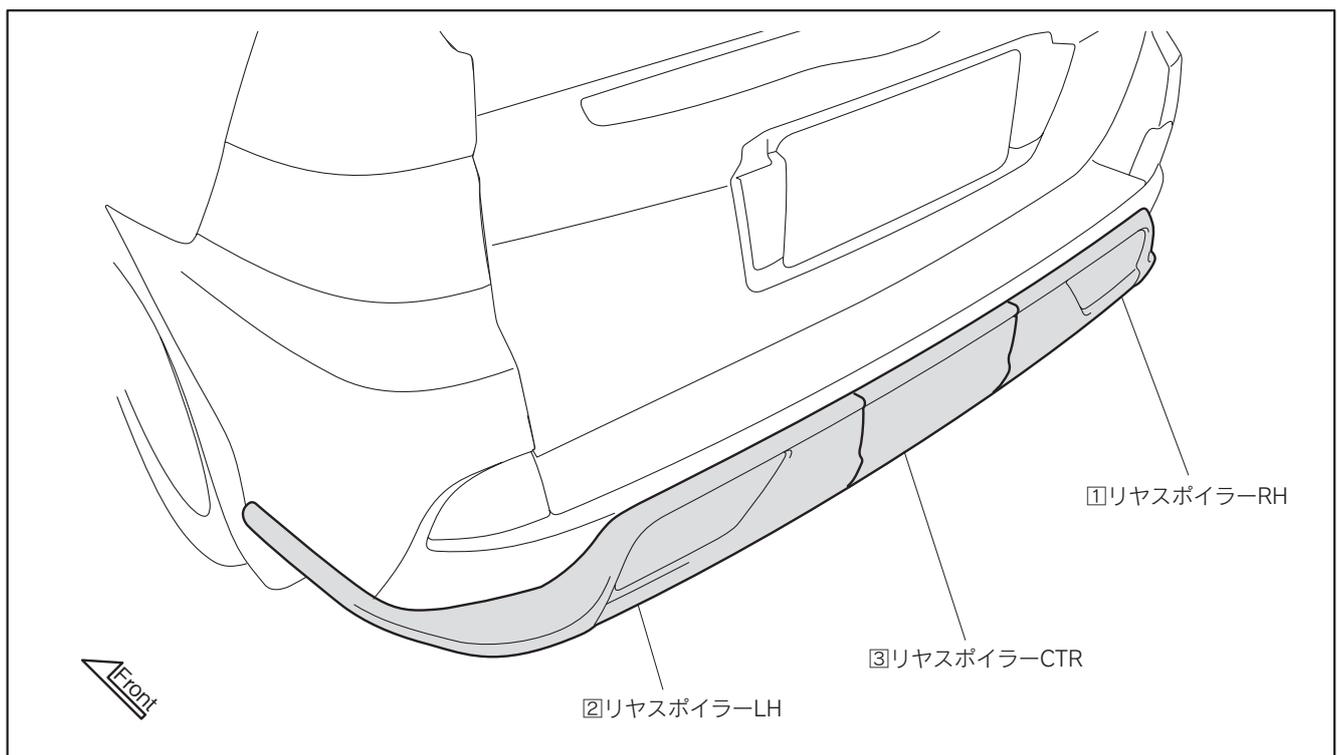
④ サービスパーツセット部品一覧

部品名		数量
①	スクリュー (φ5×16mm)	26
②	ナット (M5)	2
③	樹脂クリップ	2
④	ウルトラソニックセンサー	2

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤスポイラー RH	76085-UJ220	1	塗装品
		76085-UJ240	1	NP品 (未塗装品)
②	リヤスポイラー LH	76085-UJ230	1	塗装品
		76085-UJ250	1	NP品 (未塗装品)
③	リヤスポイラー CTR	76871-UJ200	1	塗装品
		76871-UJ210	1	NP品 (未塗装品)
④	サービスパーツセット	09194-UJ210	1	ウルトラソニックセンサー含む
⑤	取付取扱要領書 (本書)	—	1	本書は大切に保管してください。

取り付け概要



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。

👉 アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

🚫 やってはいけないこと

📌 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- 🚫 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- 📌 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- 📌 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- 📌 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- 📌 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- 📌 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- 📌 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- 📌 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- 📌 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- 📌 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- 📌 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- 🚫 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

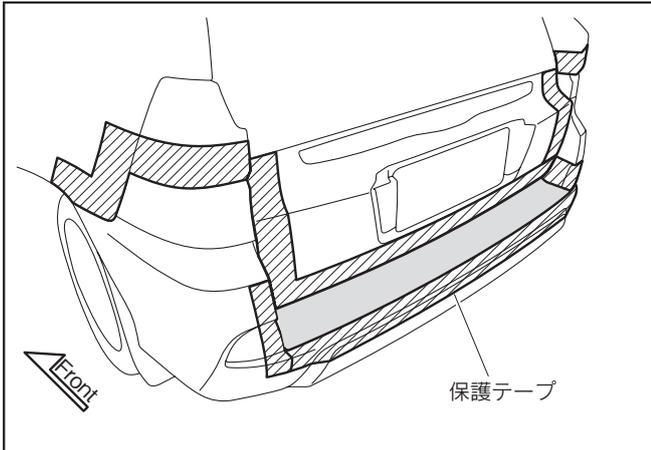
未塗装品の塗装作業について

- 📌 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- 📌 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- 📌 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- 📌 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- 📌 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- 📌 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

車両部品の取りはずし



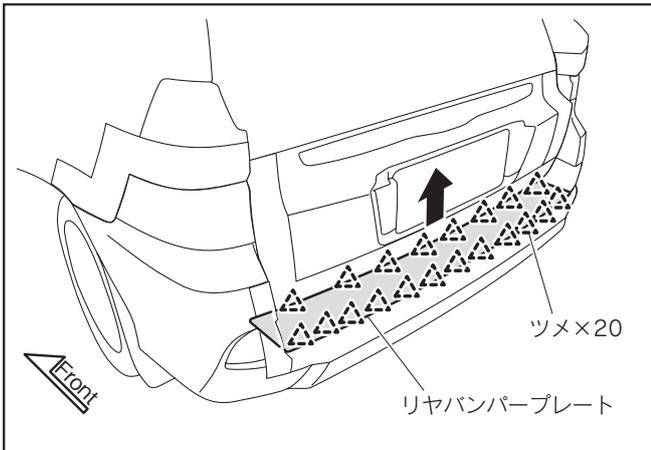
TG-WA-A01

保護テープの貼り付け

1. 図中斜線部に保護テープを貼り付ける。

⚠ 注意

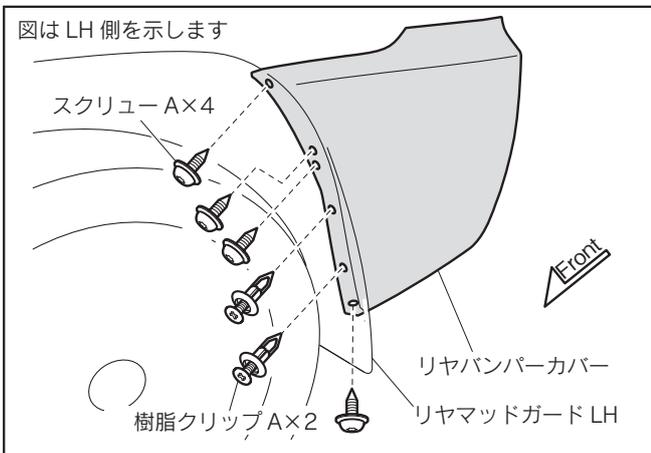
車両から取りはずした部品は、特に指示がない限り、すべて再使用しますので、傷付きや紛失に充分注意してください。



TG-WA-A02

リヤバンパープレートの取りはずし

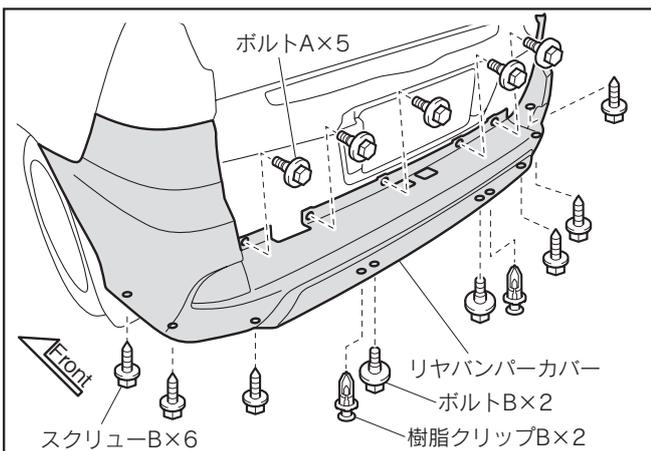
1. ツメ (20箇所) をはずし、リヤバンパープレートを取りはずす。



TG-WA-A03

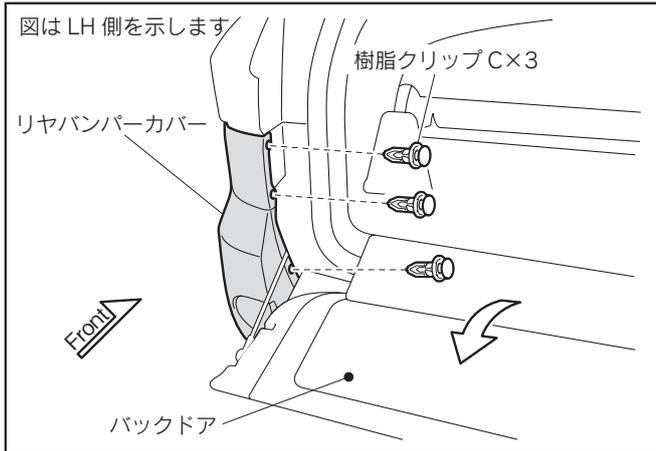
リヤバンパーカバーの取りはずし

1. LH 側リヤマッドガードのスクリュー A (4本) 及び樹脂クリップ A (2個) をはずす。
2. 同様に RH 側も作業する。

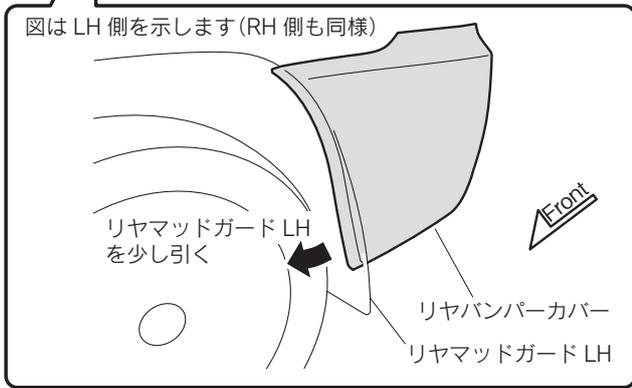
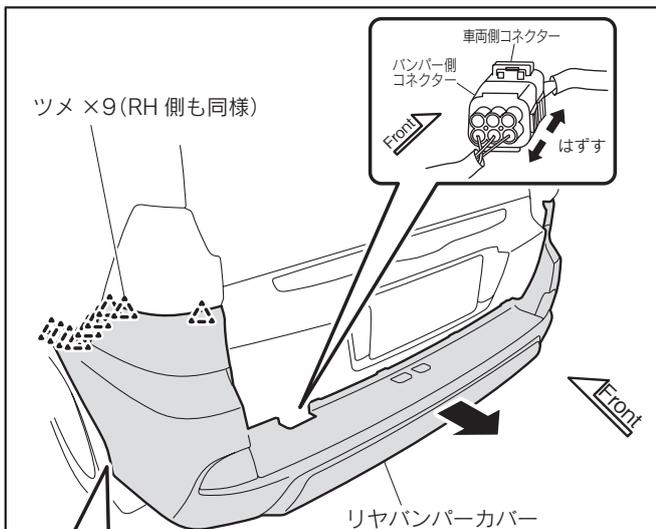


TG-WA-A04

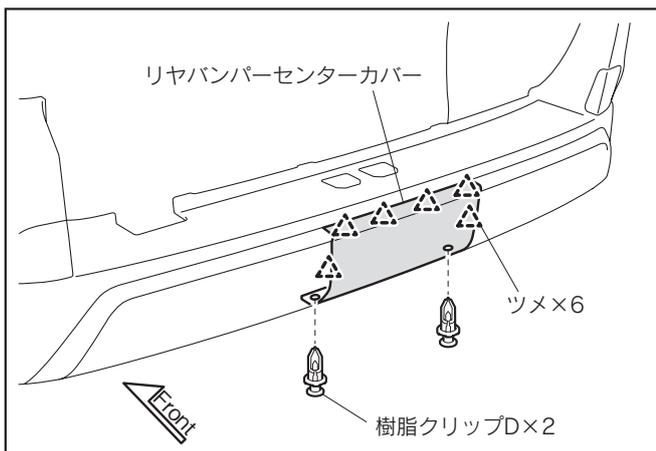
3. スクリュー B (6本)、ボルト A (5本)、ボルト B (2本) 及び樹脂クリップ B (2個) をはずす。



TG-WA-A05



TG-WA-A06



TG-WA-A07

4. バックドアを開ける。
5. リヤバンパーカバー LH 側の樹脂クリップ C (3 個) をはずす。
6. 同様に、リヤバンパーカバー RH 側の樹脂クリップ C (3 個) をはずす。

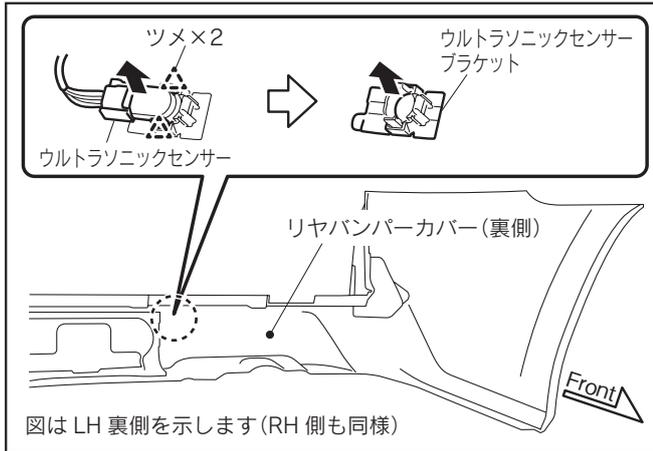
7. ツメ (18 箇所) 及びコネクタの接続をはずし、リヤバンパーカバーを取りはずす。

アドバイス

リヤバンパーカバーを取りはずす際は、リヤマットガードを少し引いて取りはずしてください。

リヤバンパーセンターカバーの取りはずし

1. 樹脂クリップ D (2 個) 及びツメ (6 箇所) をはずし、リヤバンパーセンターカバーを取りはずす。



TG-TTC-A08

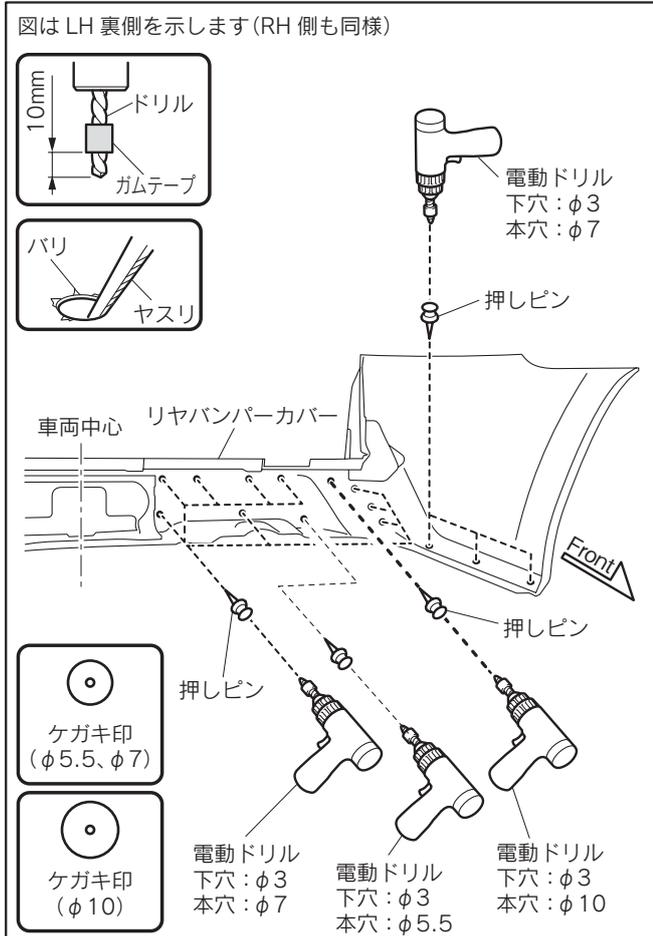
超音波センサー及び 超音波センサーブラケットの 取りはずし

1. ツメ (各 2 箇所) 及びコネクター (各 1 箇所) の嵌合をはずし、超音波センサー (2 個) をリアバンパーカバーから取りはずす。
2. 超音波センサーブラケット (2 個) をリアバンパーカバーから剥がす。

⚠ 注意

超音波センサー (2 個) 及び超音波センサーブラケット (2 個) は再使用しません。

車両部品の加工



TG-WA-B01

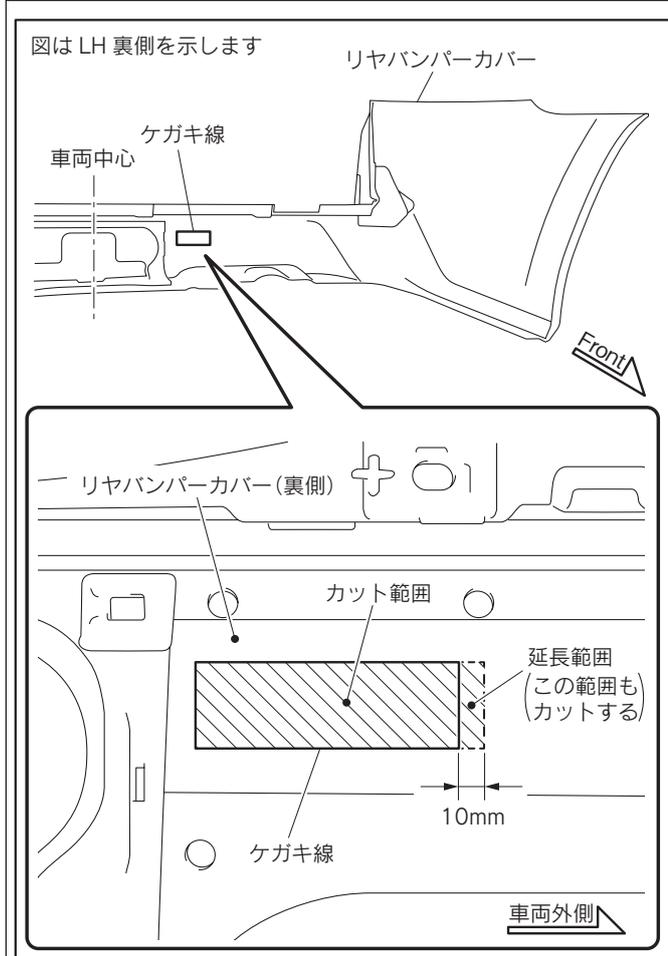
車両部品傷付き防止の為、以降の作業は必ず保護シートの上で行ってください。

リアバンパーカバーの穴開け

1. リアバンパーカバー裏側のケガキ印 (28 箇所) に押しピンで貫通穴を開ける。
2. 図に従い、電動ドリル ($\phi 3$, $\phi 5.5$, $\phi 7$, $\phi 10$) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
3. 貫通穴 (28 箇所) に電動ドリルで下穴 $\phi 3$ を開ける。
4. 下穴 (2 箇所) に電動ドリルで本穴 $\phi 5.5$ を開ける。
5. 下穴 (24 箇所) に電動ドリルで本穴 $\phi 7$ を開ける。
6. 下穴 (2 箇所) に電動ドリルで本穴 $\phi 10$ を開ける。
7. 加工穴のバリをヤスリで取り除く。

⚠ 注意

1. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
2. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう充分注意してください。
3. 電動ドリルを使用する際は、必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋等は着用しないでください。



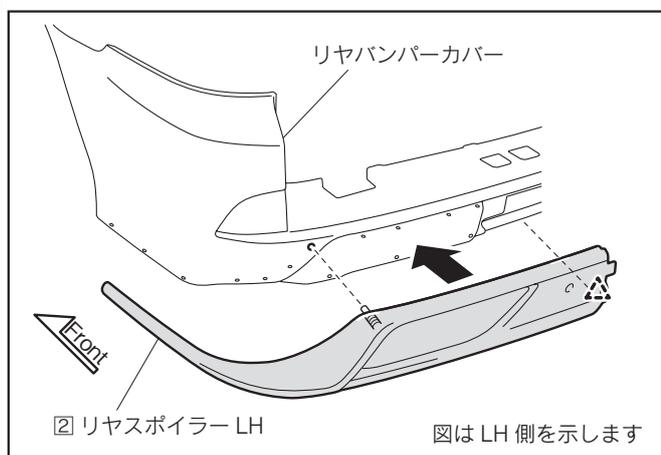
TG-WA-B02

8. リヤバンパーカバー LH 裏側のケガキ線から車両外側へ 10mm 延長した範囲を超音波カッターでカットする。
9. 加工穴のバリをヤスリで取り除く。
10. 同様に RH 側も作業する。

⚠ 注意

超音波カッターを使用する際は必ずケブラ手袋を着用してください。

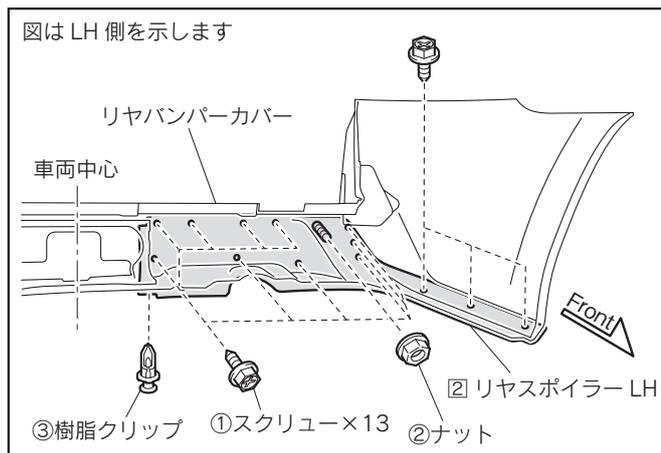
リヤスポイラーの取り付け



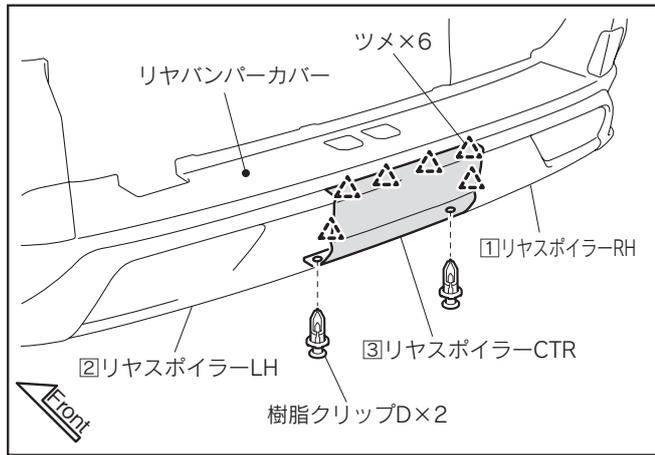
TG-TTC-C01

リヤスポイラー LH 及び RH の取り付け

1. ツメ (1 箇所) を嵌合し、**②** リヤスポイラー LH をリヤバンパーカバーに仮組みする。
2. **②** リヤスポイラー LH を**①** スクリュー (13 本)、**②** ナット (1 個) 及び**③** 樹脂クリップ (1 個) で固定する。
3. 同様に、**①** リヤスポイラー RH をリヤバンパースポイラーに取り付ける。



TG-TTC-C02

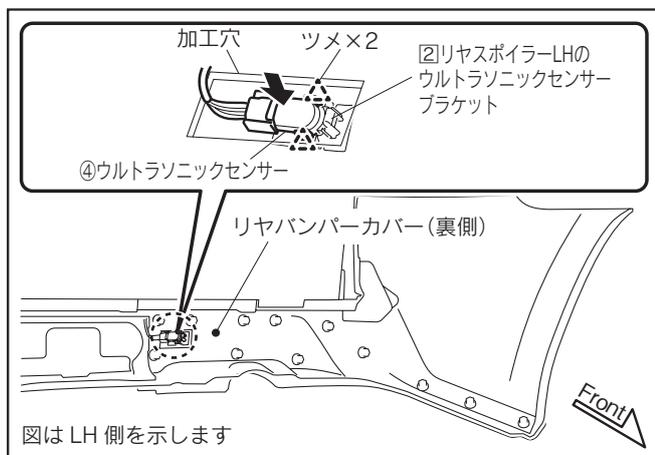


TG-TTC-C03

リヤスポイラー CTR の取り付け

- ③ リヤスポイラー CTR をリヤバンパーカバーに組み付け、ツメ（6箇所）を嵌合させる。
- ③ リヤスポイラー CTR を樹脂クリップD（2個）で固定する。

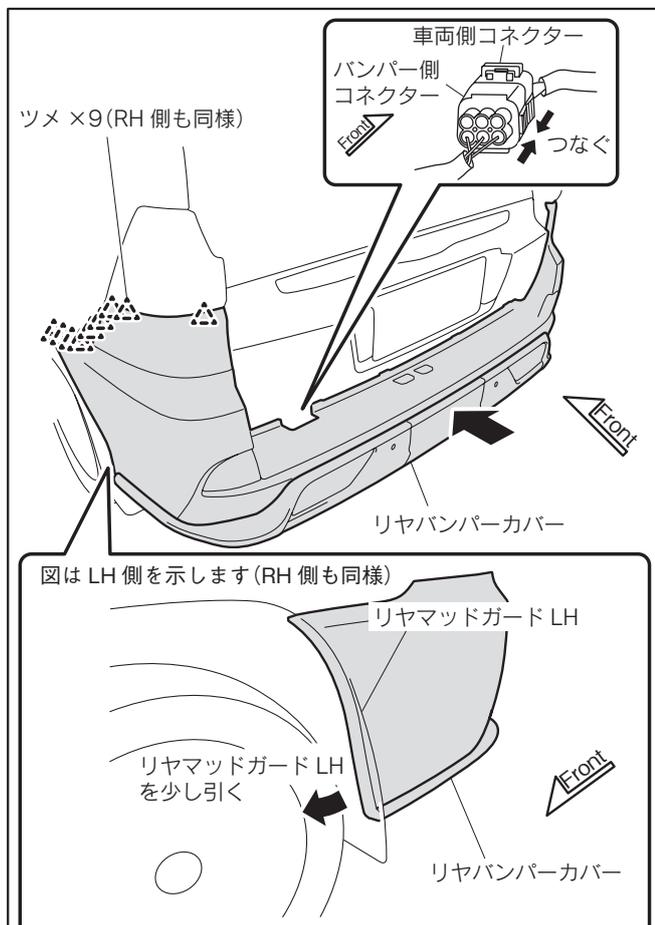
車両部品の復元



TG-TTC-D01

ウルトラソニックセンサーの取り付け

- 車両ハーネス LH 側のコネクタを④ウルトラソニックセンサー（1個）に接続する。
- コネクタに接続した④ウルトラソニックセンサーをリヤバンパーカバー LH 側の加工穴から②リヤスポイラー LH のウルトラソニックセンサーブラケットにツメ（各2箇所）を嵌合させて固定する。
- 同様に、①リヤスポイラー RH にも④ウルトラソニックセンサー（1個）を取り付ける。



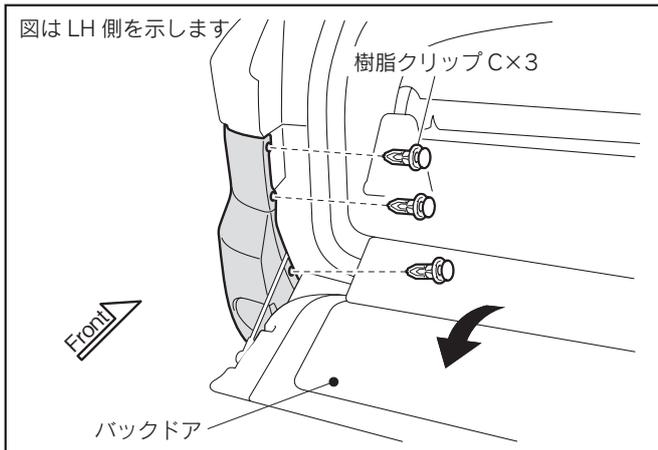
TG-TTC-D02

リヤバンパーカバーの復元

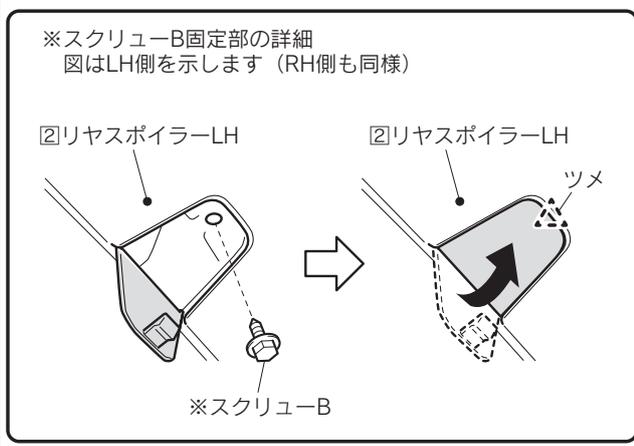
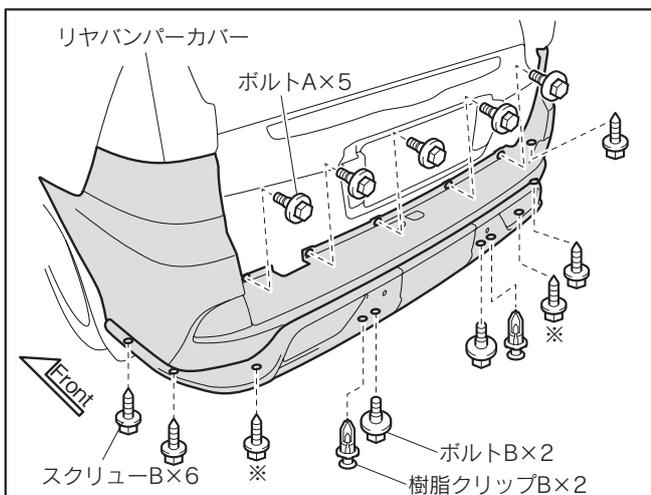
- コネクタを接続し、フロントバンパーカバーを車両に組み付けて、ツメ（18箇所）を嵌合させる。

アドバイス

リヤバンパーカバーを組み付ける際は、リヤマッドガードを少し引いて組み付けてください。

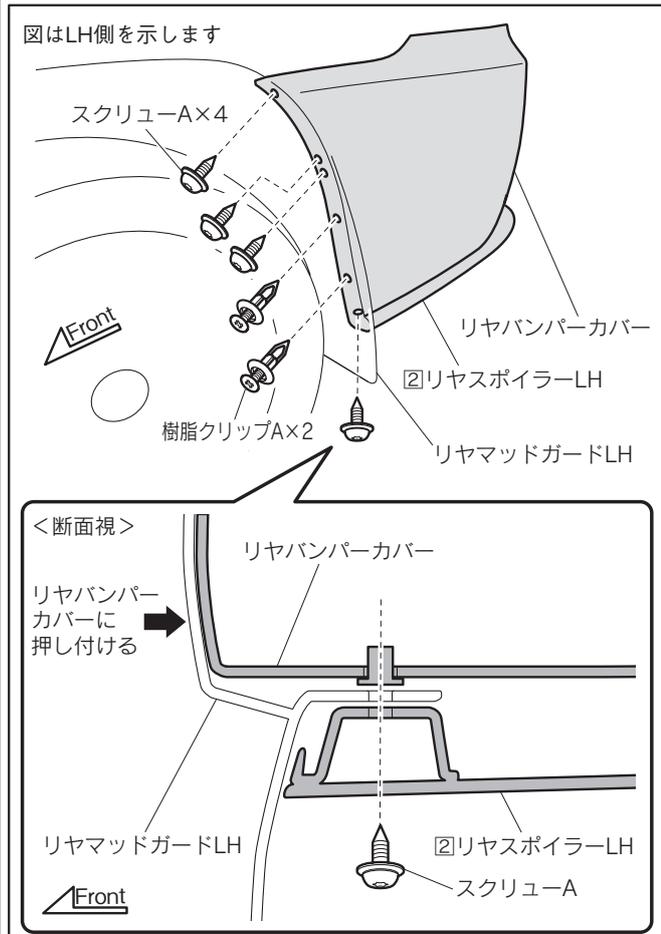


TG-WA-D03

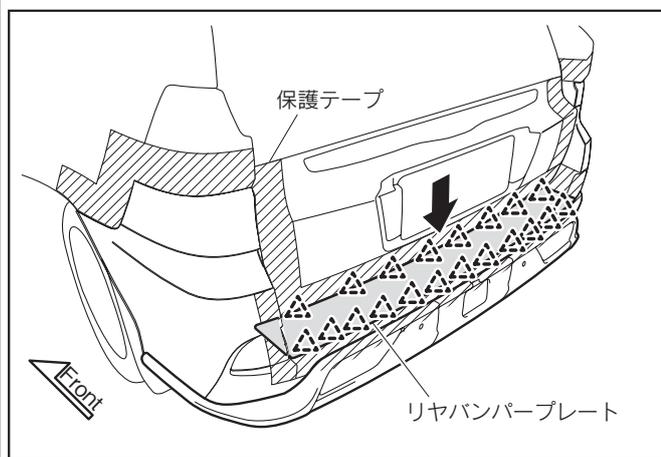


TG-TTC-D04

2. バックドアを開ける。
3. リヤバンパーカバー LH 側を樹脂クリップ C (3 個) で固定する。
4. 同様に、リヤバンパーカバー RH 側を樹脂クリップ C (3 個) で固定する。
5. スクリュー B (6 本)、ボルト A (5 本)、ボルト B (2 本) 及び樹脂クリップ B (2 個) で、フロントバンパーカバーを固定する。
6. 図中※で示すスクリュー B のカバー (2 箇所) を閉じて、ツメ (各 1 箇所) を嵌合させる。



TG-TTC-D05



TG-WA-D08

7. LH側リヤマッドガードのスクリーユ-A (4本) 及び樹脂クリップ-A (2個) を固定する。
8. 同様にRH側も固定する。

アドバイス

リヤマッドガードを固定する際は、リヤバンパーカバーに押し付けながら組み付けてください。

リヤバンパープレートの復元

1. ツメ (20箇所) を嵌合させて、リヤバンパープレートを車両に復元する。
2. 保護テープをすべて剥がす。

取り付け完了後の確認

1. 各部品が車両に確実に固定されているか点検してください。
2. 取り付け後、各部品及び車両に傷を付けていないか点検してください。

未塗装品の取り扱いについて

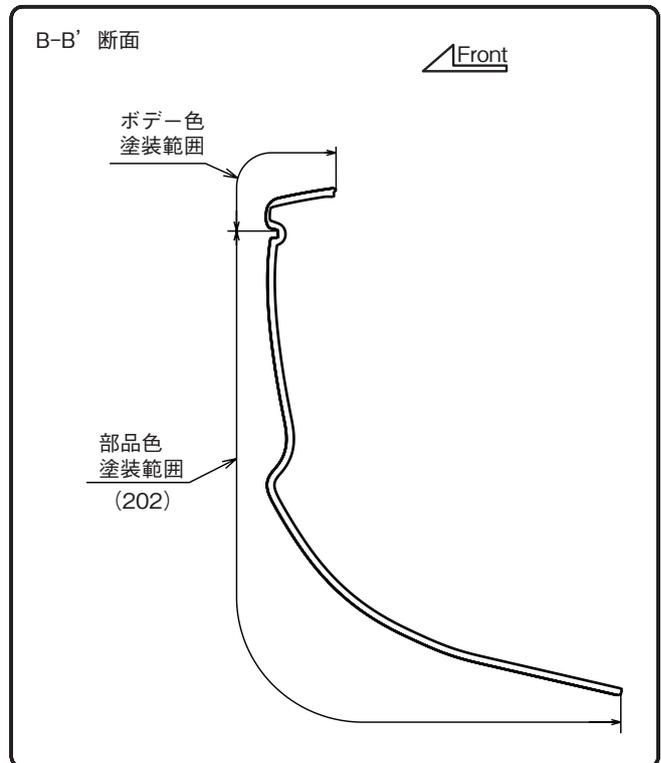
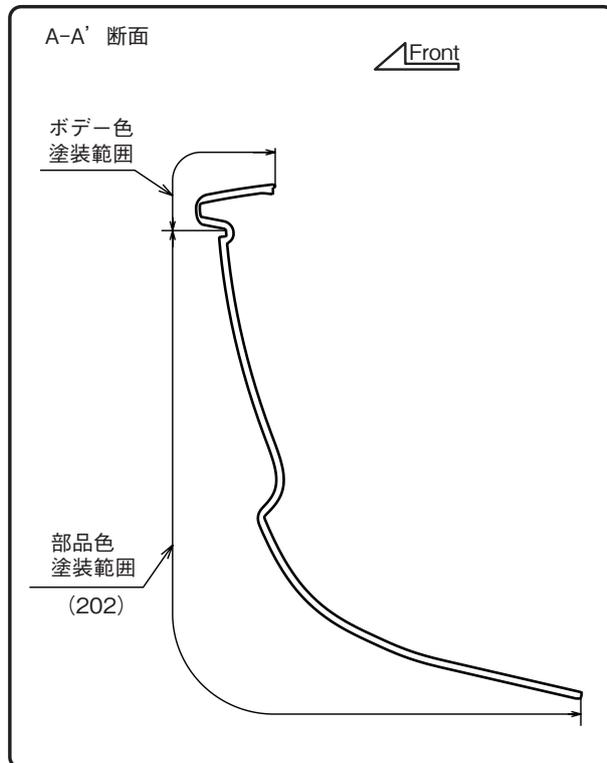
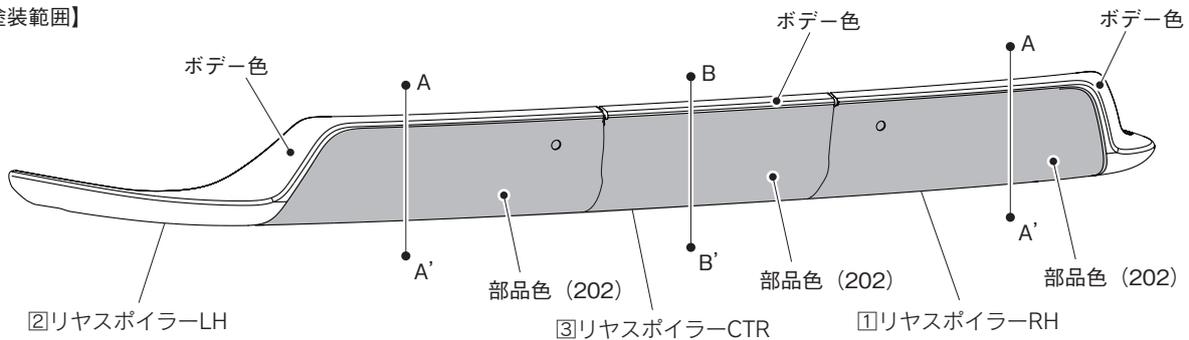
以降は、未塗装品の組み付け作業を記載しています。下記要領に従い、作業を行ってください。

取り付け部品

	No.	部品名	数量
①	①	プロテクタRH (1270mm)	1
②	②	プロテクタLH (1270mm)	1
③	③	プロテクタCTR (425mm)	1

組み付け要領

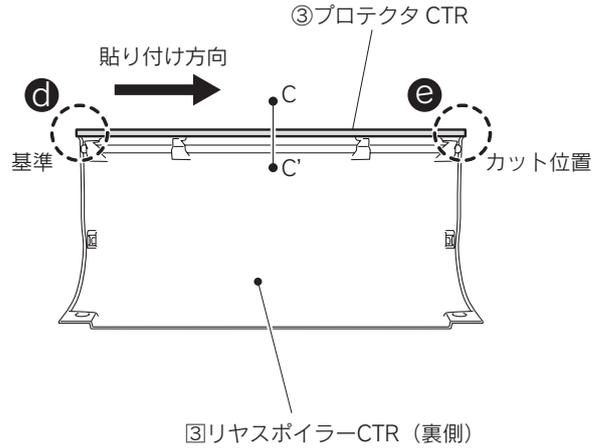
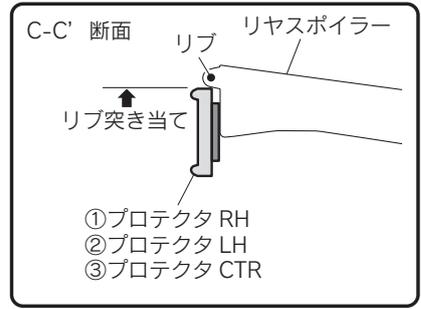
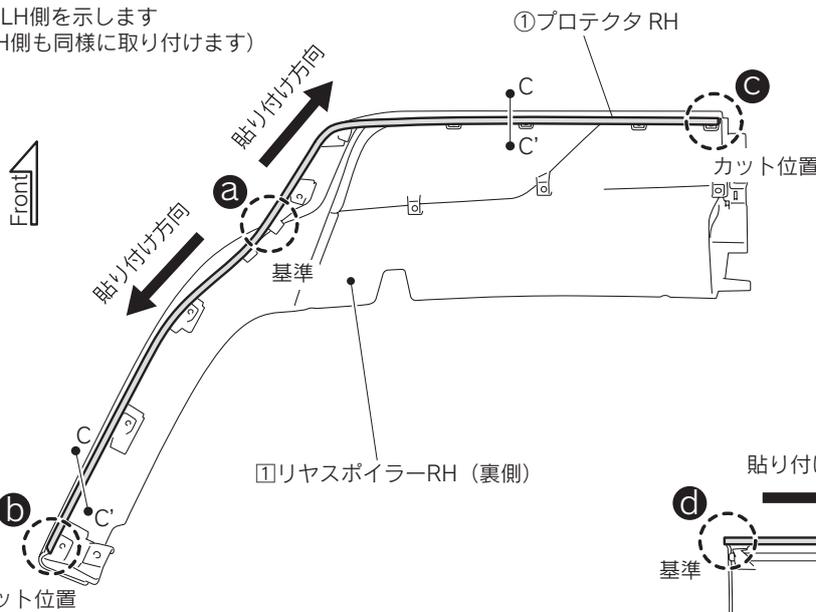
【塗装範囲】



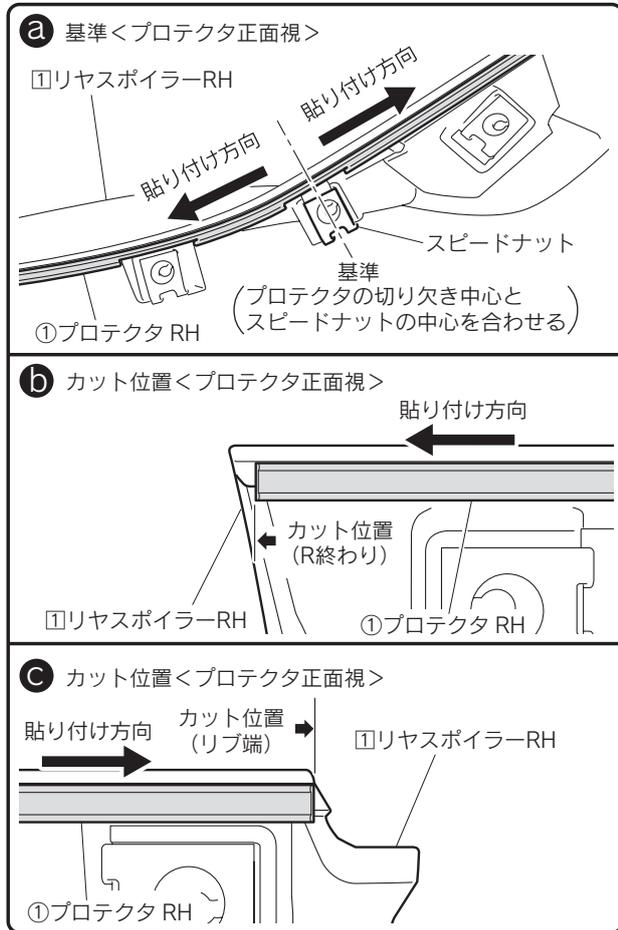
リヤスポイラーの塗装

1. 図で示すボデー色塗装範囲及び部品色塗装範囲を塗装する。

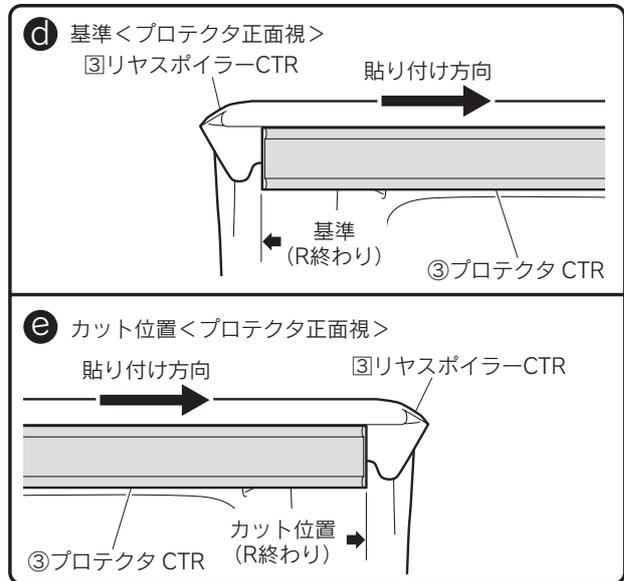
図はLH側を示します
(RH側も同様に取り付けます)



①プロテクタ RH(②プロテクタ LHも同様)



③プロテクタ CTR



プロテクタの貼り付け

- ① リヤスポイラー RH、② リヤスポイラー LH 及び ③ リヤスポイラー CTR 裏側のプロテクタ取り付け部にプライマを塗布する。
【パックプライマ K-500 (品番 : 08867-00230)】
- 上図に従い、①プロテクタ RH、②プロテクタ LH 及び③プロテクタ CTR を貼り付ける。
- 貼り付けた各プロテクタを 49N (5kgf) 以上で圧着する。

⚠ 注意

プライマ使用の際は、プライマ指定の注意事項を必ず守って作業してください。